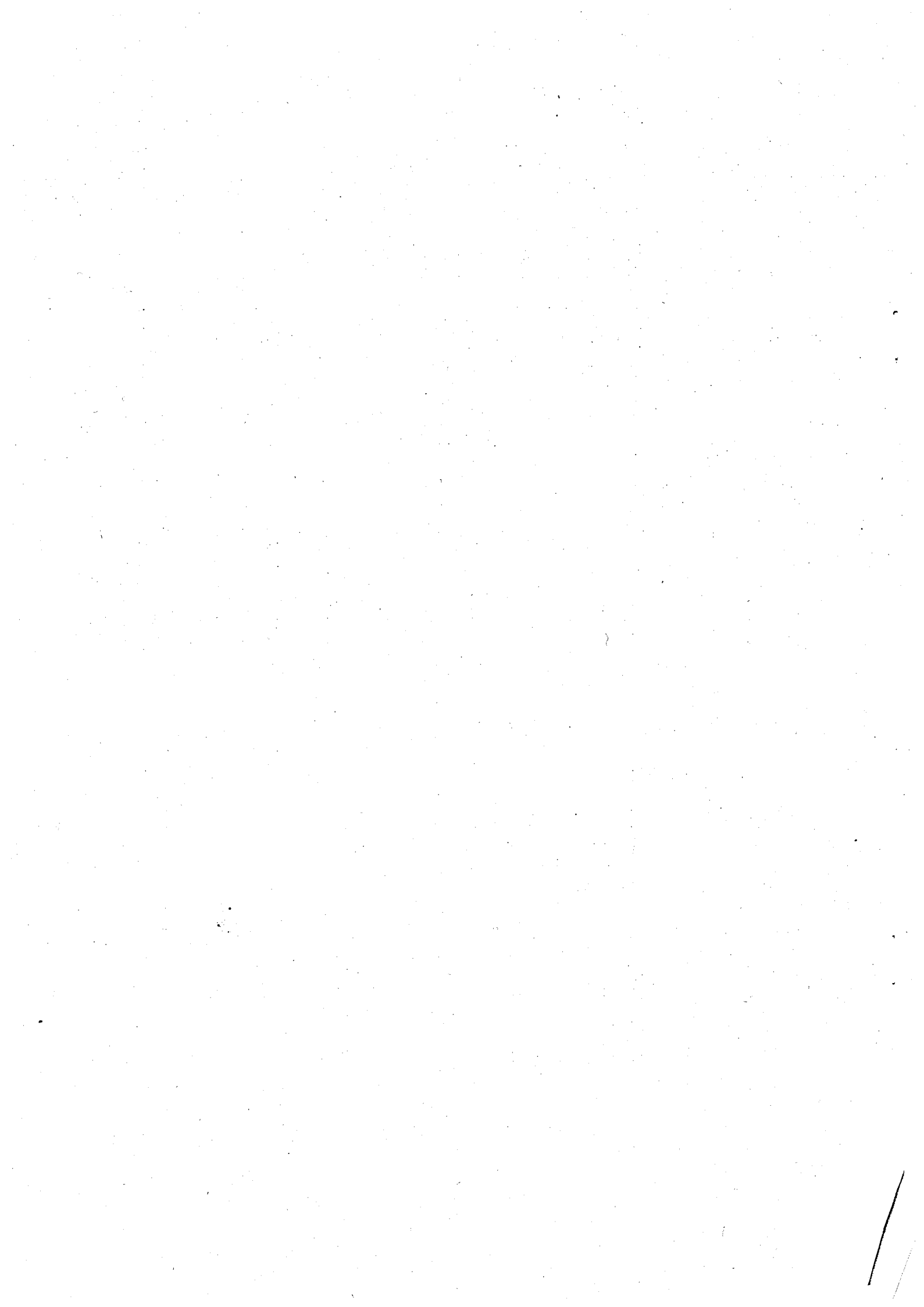


大阪市高齢者実態調査報告
(介護支援専門員調査)

平成26年3月

大阪市 福祉局 高齢福祉課
高齢施設課
介護保険課



目次

1 調査概要

(1) 調査目的.....	
(2) 調査設計.....	
(3) 調査項目.....	
(4) 回収状況.....	
(5) 報告書の見方.....	

2 調査結果

(1) 回答者の基本属性

問1 性別.....	3
問2 年齢.....	3
問3 介護支援専門員業務の従事状況.....	4
問4 保健医療福祉関係の所有資格.....	7
問5 主任介護支援専門員の資格.....	8
問6 居宅介護支援事業所の設置主体.....	8
問7 勤務形態、非常勤の週当り勤務時間.....	9

(2) 担当している利用者の状況

問8 担当利用者数、利用者の状況等.....	10
問9 介護保険サービス以外のサービス利用状況.....	14
問10 介護保険サービス以外のサービス利用内容.....	15

(3) サービス内容と課題

問11 事業所数等で量的に不足と思われるもの.....	16
問13 サービス事業者に関する情報の取得方法.....	17
問14 ケアプラン作成にあたり医療機関からの情報収集方法.....	17
問15 医療機関と連携するうえでの工夫.....	18
問16 病院等を入・退院する利用者の担当の有無等.....	19
問17 サービス担当者会議を開催するうえで困難と感じていること.....	23
問18 サービス担当者会議を開催するうえでの工夫.....	23
問19 ケアプラン作成における課題.....	24

(4) 支援困難な利用者への対応状況

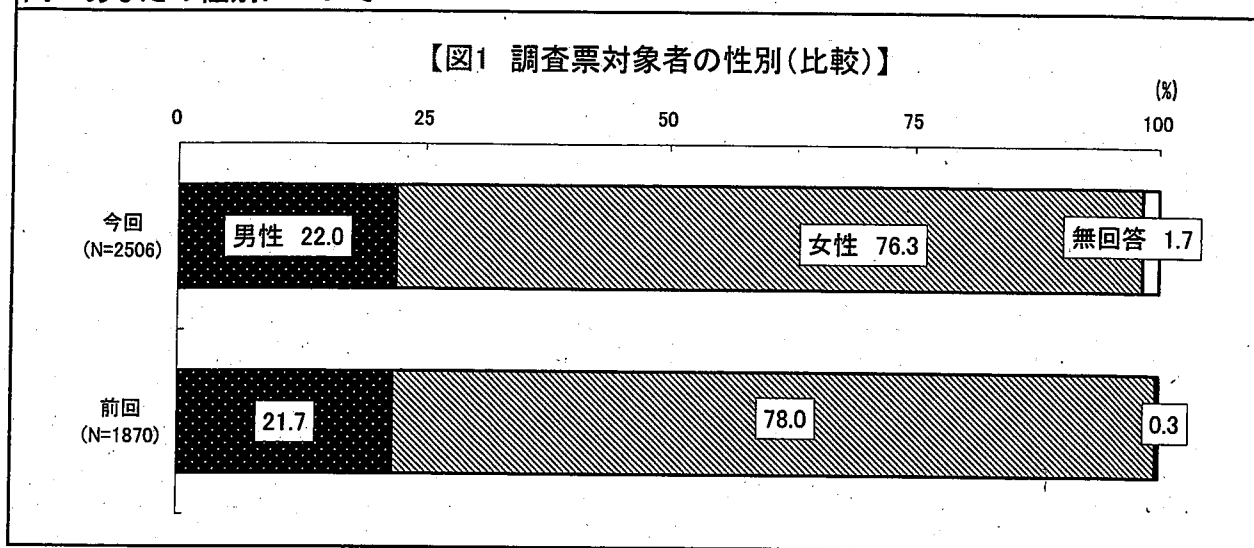
問20 支援困難な利用者の有無.....	25
問21 支援困難な理由.....	26
問22 支援困難な事例についての対応方法.....	27
問23 認知症高齢者のケアプランを作成するうえで困難と感じていること.....	28
問24 課題解決のための対応方法.....	29

(5) 高齢者虐待の状況	
問25 高齢者虐待を受けている人の有無.....	30
問26 高齢者虐待を発見した後の相談(通報)の有無.....	31
問27 高齢者虐待を発見した後に相談(通報)しなかった理由.....	32
問28 高齢者虐待を受けている人への対応方法.....	33
(6) 居宅介護支援事業全般について	
問29 レベルアップのための取り組み.....	34
問30 レベルアップのための今後の取り組み.....	35
問31 介護支援専門員業務を行う上での課題.....	36
問32 地域包括支援センターに期待する役割.....	37
問33 地域包括支援センター・区役所等との連携.....	38
問35 今後行政に期待する役割.....	39

2 介護支援専門員調査結果

(1) 調査対象者の基本属性

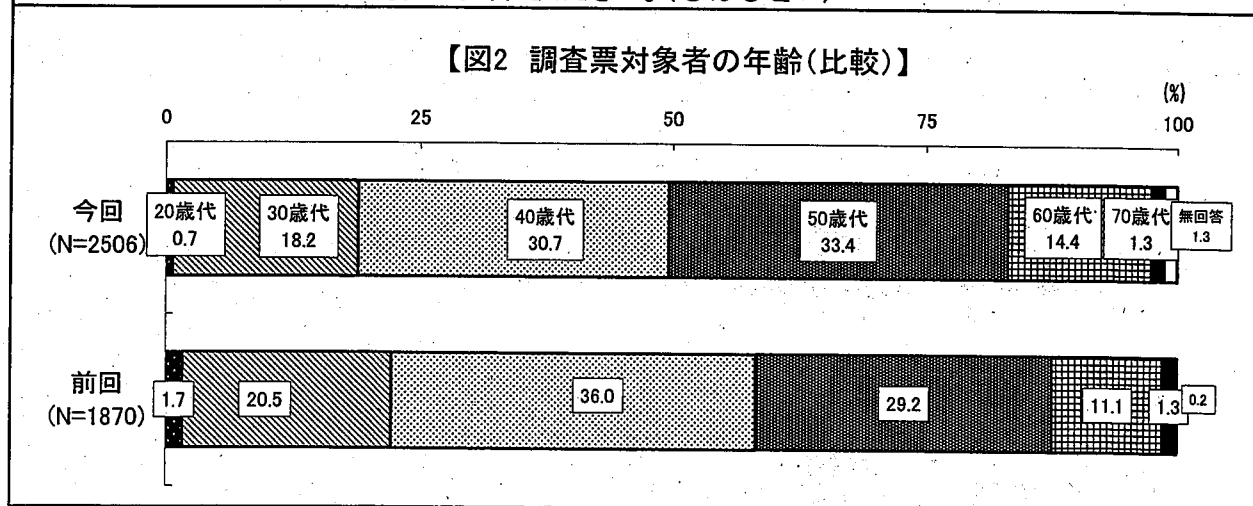
問1 あなたの性別について



調査対象者の性別は、「男性」が、22.0%、「女性」が76.3%で、「女性」が圧倒的に多いが、前回に比べ「男性」が0.3ポイント増えている。(図1)

問2 あなたの年齢は、次のどれにあてはまりますか。

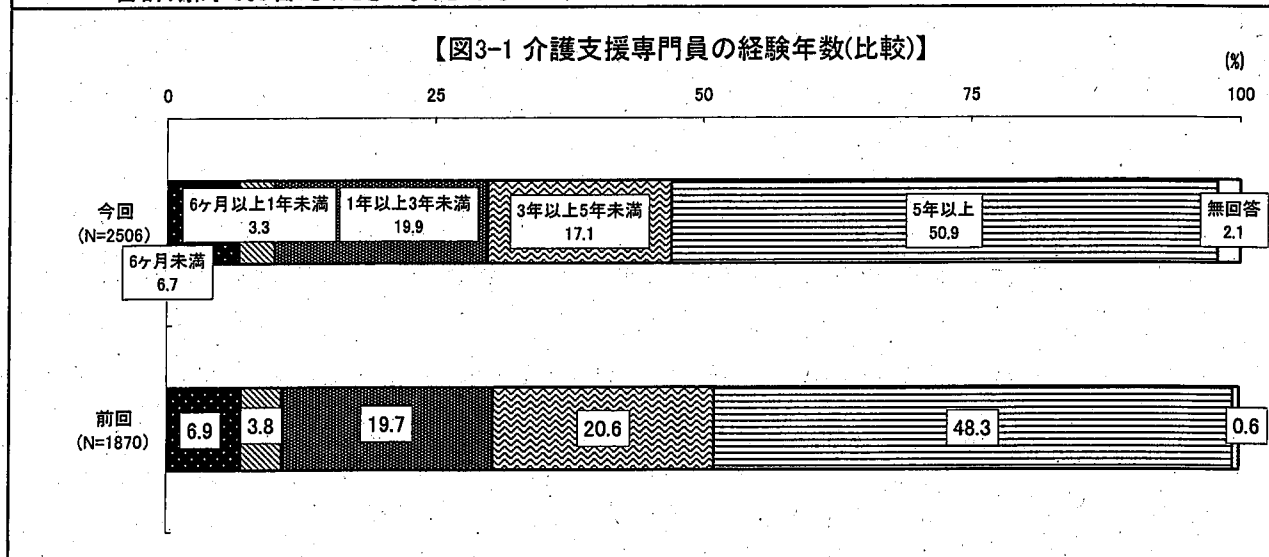
平成25年9月30日現在でお答えください。(○はひとつ)



調査対象者の年齢は、「50歳代」が、33.4%で最も多く、次いで「40歳代」が30.7%となっている。前回に比べ、「20歳代・30歳代・40歳代」が減っている。(図2)

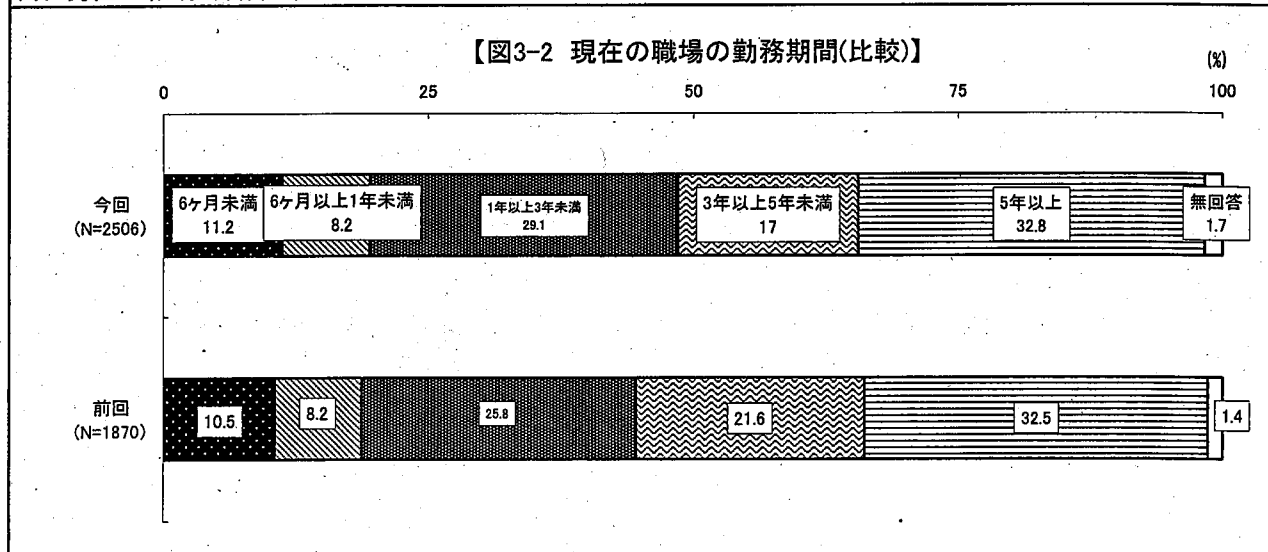
問3 あなたの平成25年9月30日現在での、介護支援専門員業務の従事状況についてお答えください。

(ア) 介護支援専門員業務に従事してどれくらいの経験がありますか。前職も含めた合計期間でお答えください。(〇はひとつ)



経験年数を見ると、「5年以上」が50.9%と最も多く、次いで「1年以上3年未満」が19.9%となっている。前回に比べ、「5年以上」が2.6ポイント増えている。(図3-1)

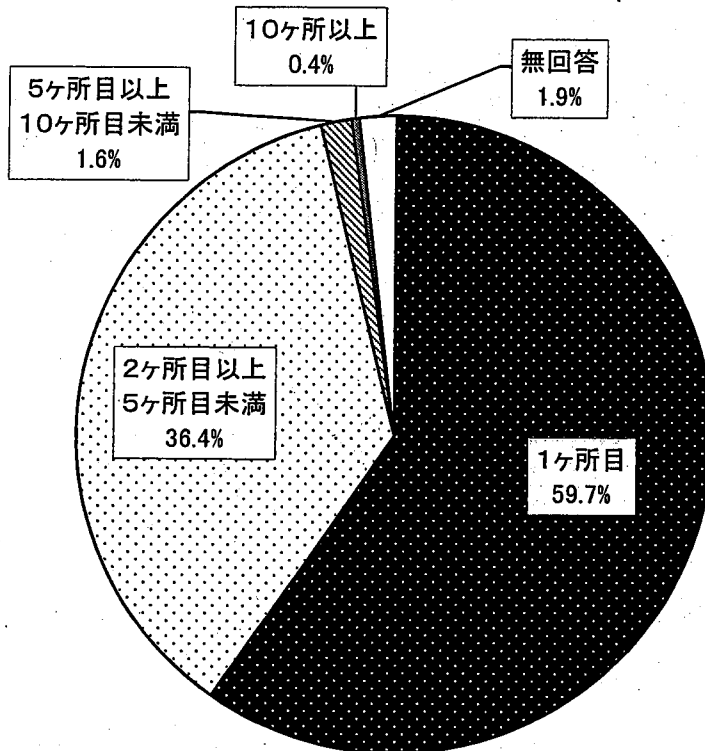
(イ) 現在の職場(介護支援専門員業務)の勤務期間をお答えください。(〇はひとつ)



現在の職場での勤務年数は、「5年以上」が32.8%と最も多く、次いで「1年以上3年未満」が29.1%となっている。前回に比べ、「1年以上3年未満」が3.3ポイント増えている。(図3-2)

(エ) あなたが勤務している居宅介護支援事業所は、介護支援専門員として働き始めてから何カ所目の事業所ですか。
(人事異動等による同一法人内での勤務地の変更を除きます)

【図3-3 事業所の変更箇所数】

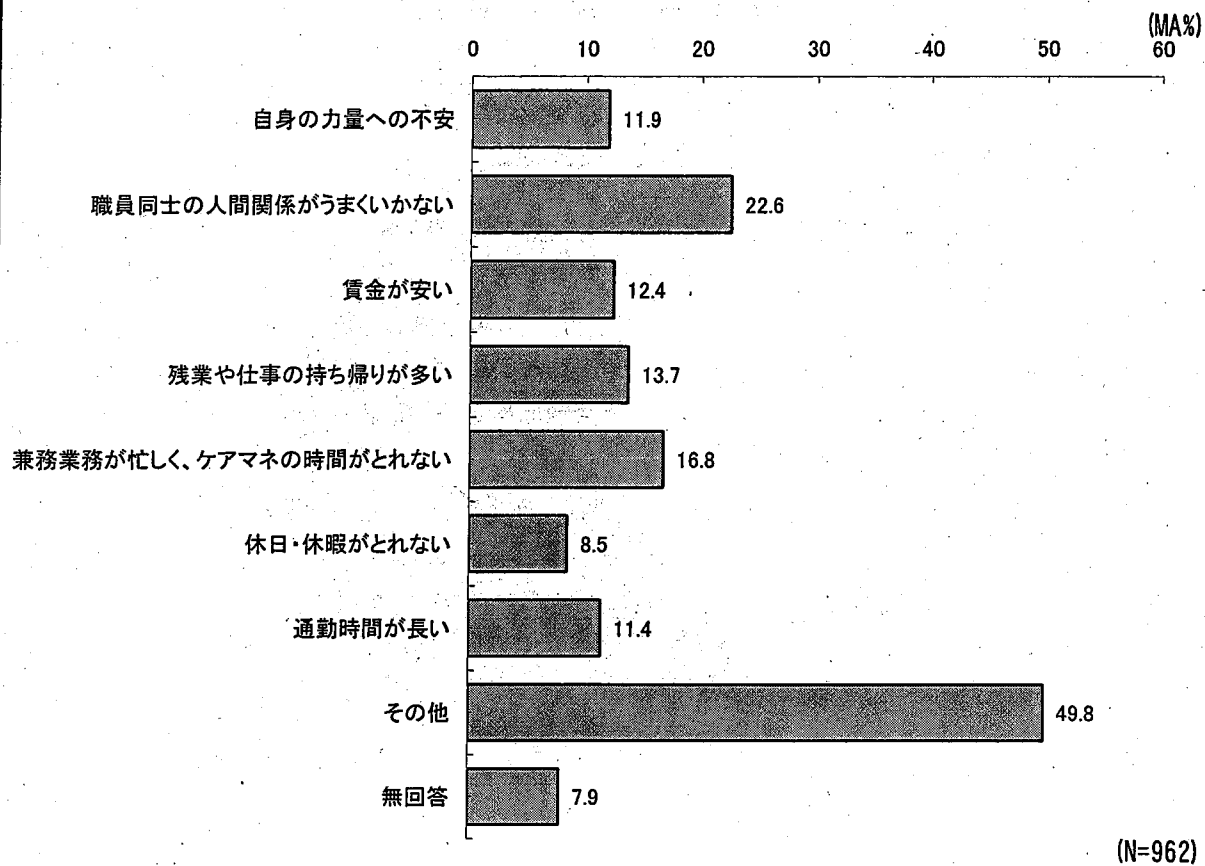


(N=2506)

勤務している事業所の変更箇所数をみると、「1ヶ所目」が59.7%と最も多く、次いで「2ヶ所目以上5ヶ所目未満」が36.4%となっている。(図3-3)

(オ) (エ)で「2カ所目」以上と答えられた方にお伺いします。
以前、勤務していた居宅介護支援事業所を辞められた理由は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

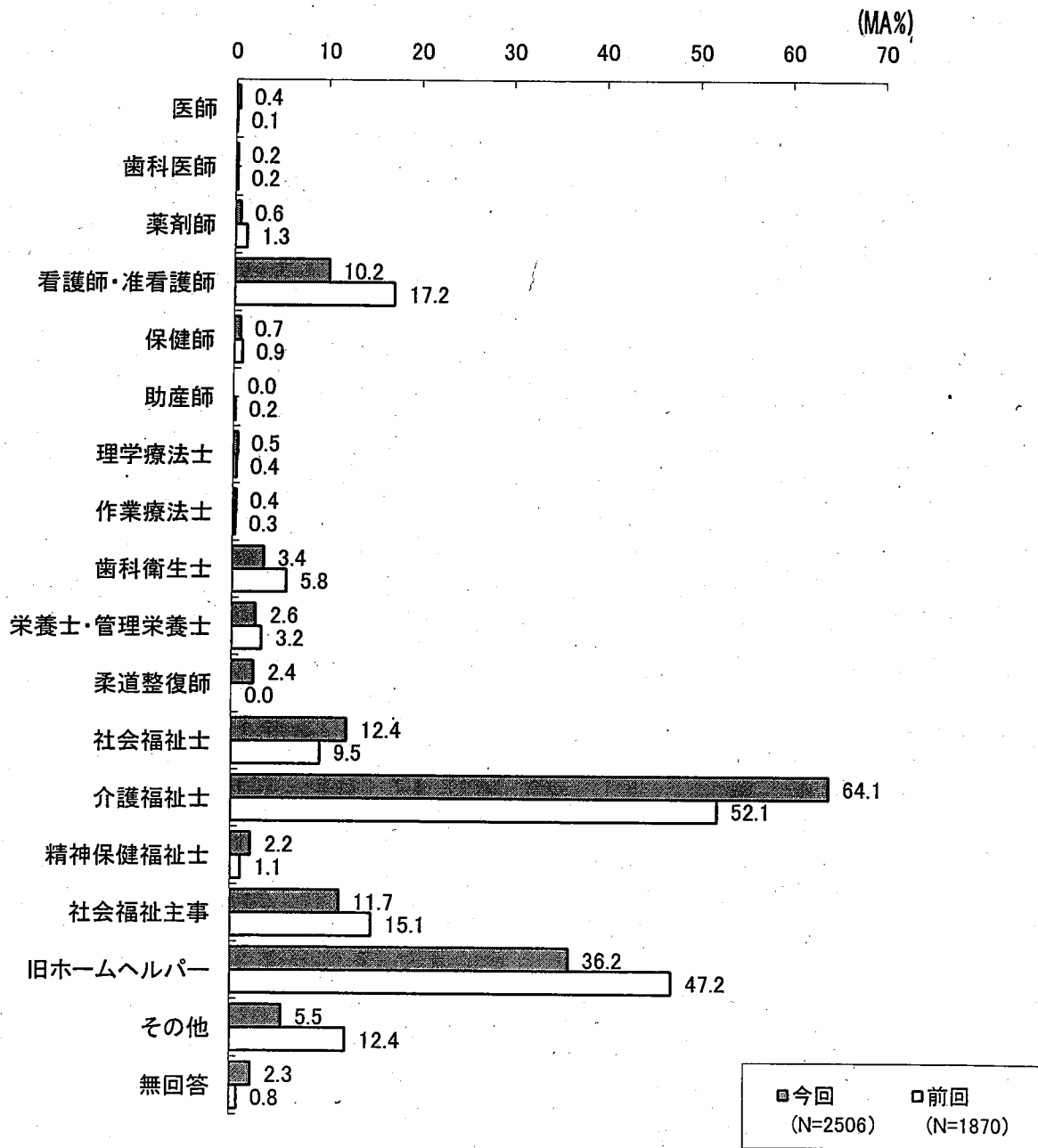
【図3-4 事業所を辞めた理由】



事業所の辞めた理由をみると、「職員同士の人間関係がうまくいかない」が22.6%と最も多く、次いで「兼務業務が忙しく、ケアマネの時間がとれない」が16.8%となっている。(図3-4)

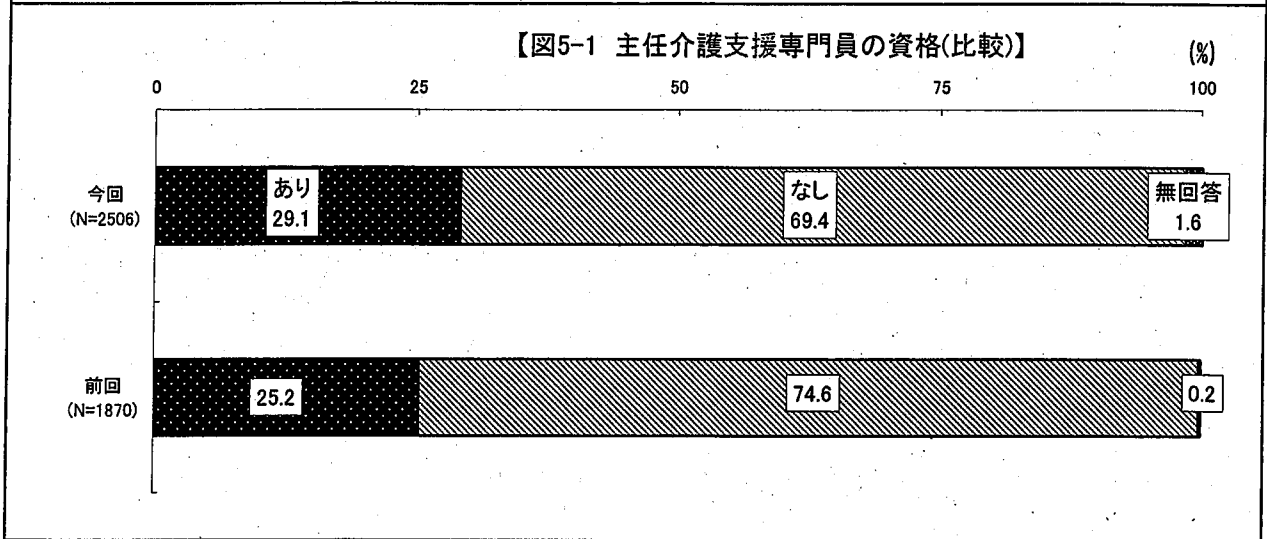
問4 あなたは、介護支援専門員以外に保健医療福祉関係の資格をお持ちですか。
 (あてはまるものすべてに○)

【図4 保健医療福祉関係の資格】



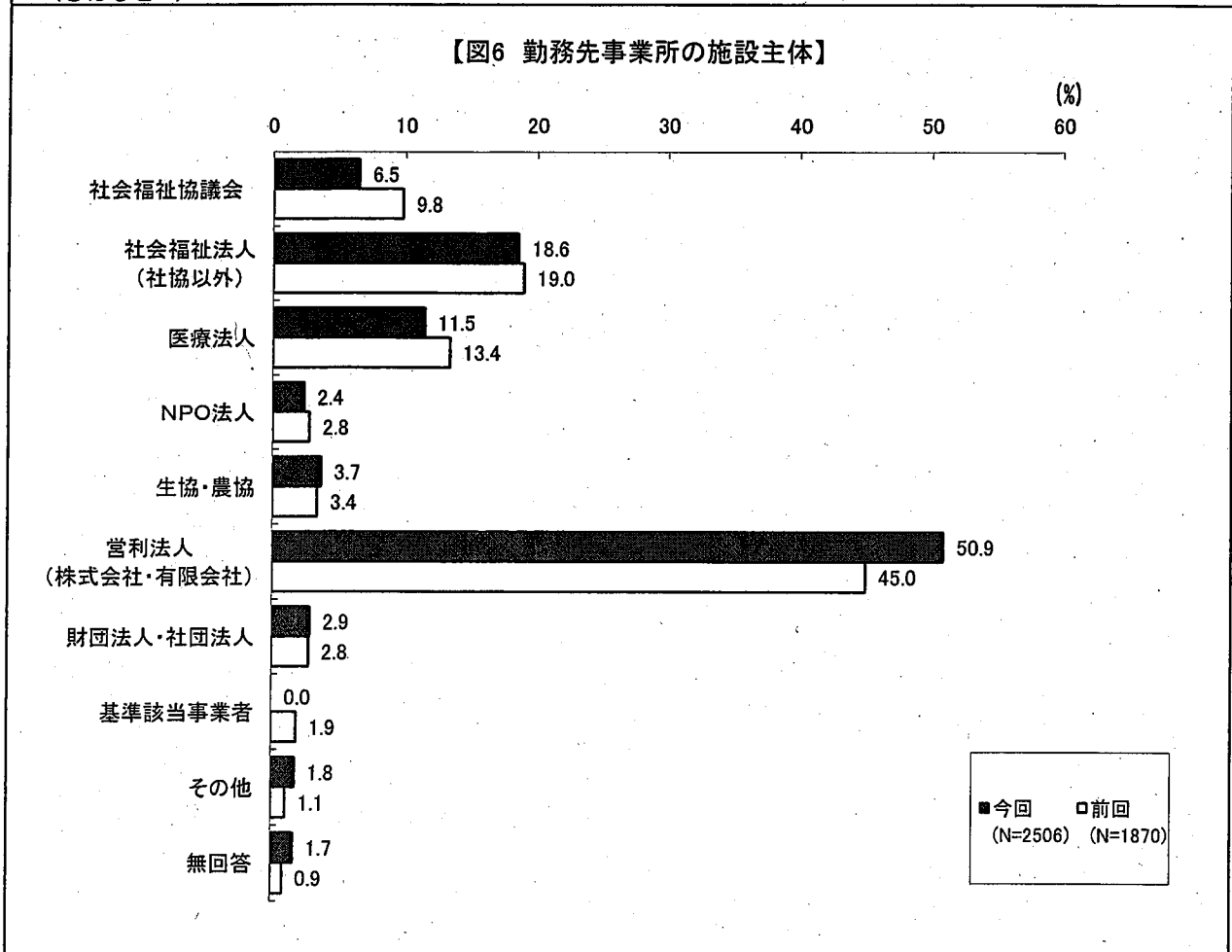
資格で最も多いのは、「介護福祉士」(64.1%)、次いで「ホームヘルパー」(旧ホームヘルパー1級・2級)が36.2%となっている。前回に比べ、「介護福祉士」は、12.0ポイント増えているが、「ホームヘルパー」(旧ホームヘルパー1級・2級)は、11.0ポイント減っている。(図4)

問5 あなたは主任介護支援専門員の資格をお持ちですか。(〇はひとつ)



主任介護専門員の資格を有する者は、29.1%であった。前回に比べ、「あり」が3.9ポイント増えている。(図5-1)

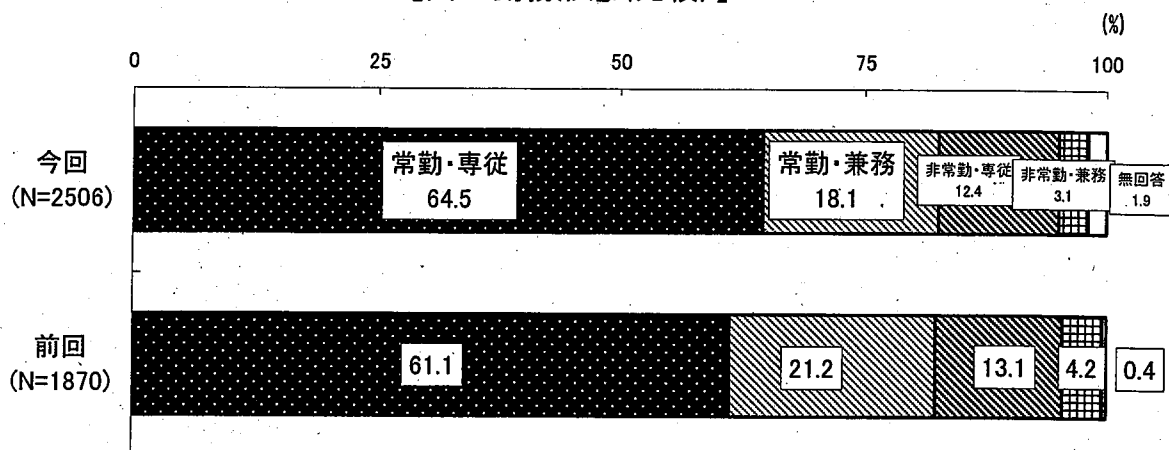
問6 あなたが勤務している居宅介護支援事業所の設置主体についてお伺いします。(〇はひとつ)



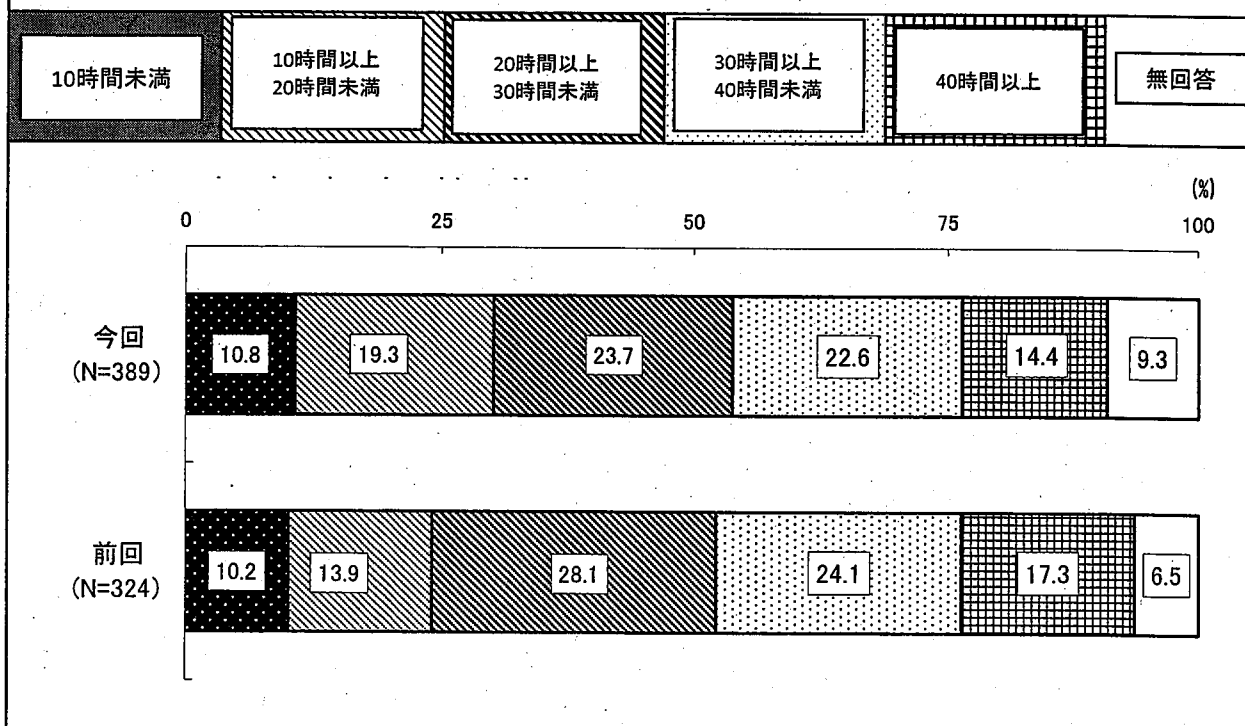
勤務先の設置主体は、「営利法人(株式会社・有限会社)」が50.9%で最も多く、次いで「社会福祉法人(社協以外)」が18.6%であった。前回に比べ、「営利法人(株式会社・有限会社)」が5.9ポイント増えている。(図6)

問7 あなたの勤務形態と勤務日数及び時間帯は、次のうちどれですか。
 非常勤の場合は週当たりの時間をご記入ください。(〇はひとつ)

【図7 勤務形態(比較)】



【図7-1】 非常勤の週当たり時間比較(比較)



勤務形態は、『常勤』が全体の82.6%を占め、そのうち「常勤・専従」が64.5%となっている。一方『非常勤』は15.5%で、そのうち「非常勤・専従」が12.4%となっている。前回調査と比べると、「常勤・専従」が3.4ポイント増えている。

非常勤の週当たり勤務時間では、「20時間以上30時間未満」が23.7%と最も多い。前回調査と比べると、『20時間未満』は増えており、『20時間以上』は、減っている。(図7-1)

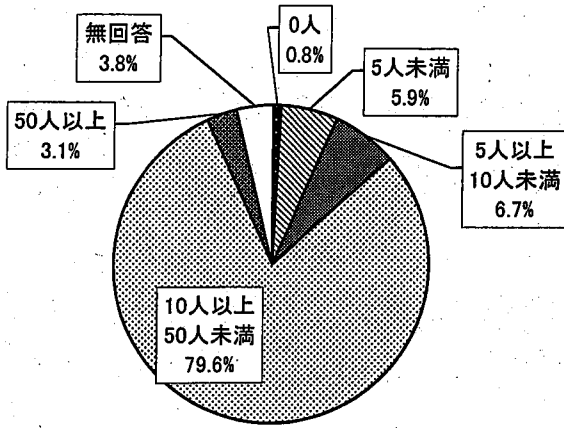
(2) 担当している利用者の状況

問8 あなたが担当している利用者等についてお伺いします。

担当する利用者や件数がない場合は「0」と記入してください。

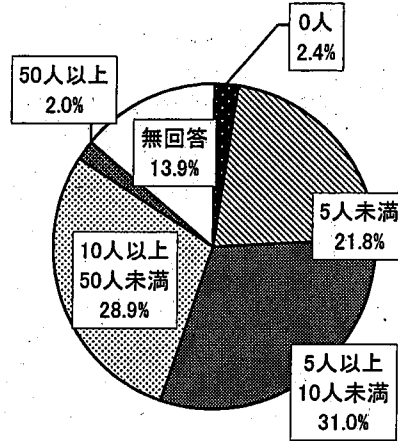
(1) 担当利用者数

【図8-1 担当利用者数】



(N=2506)

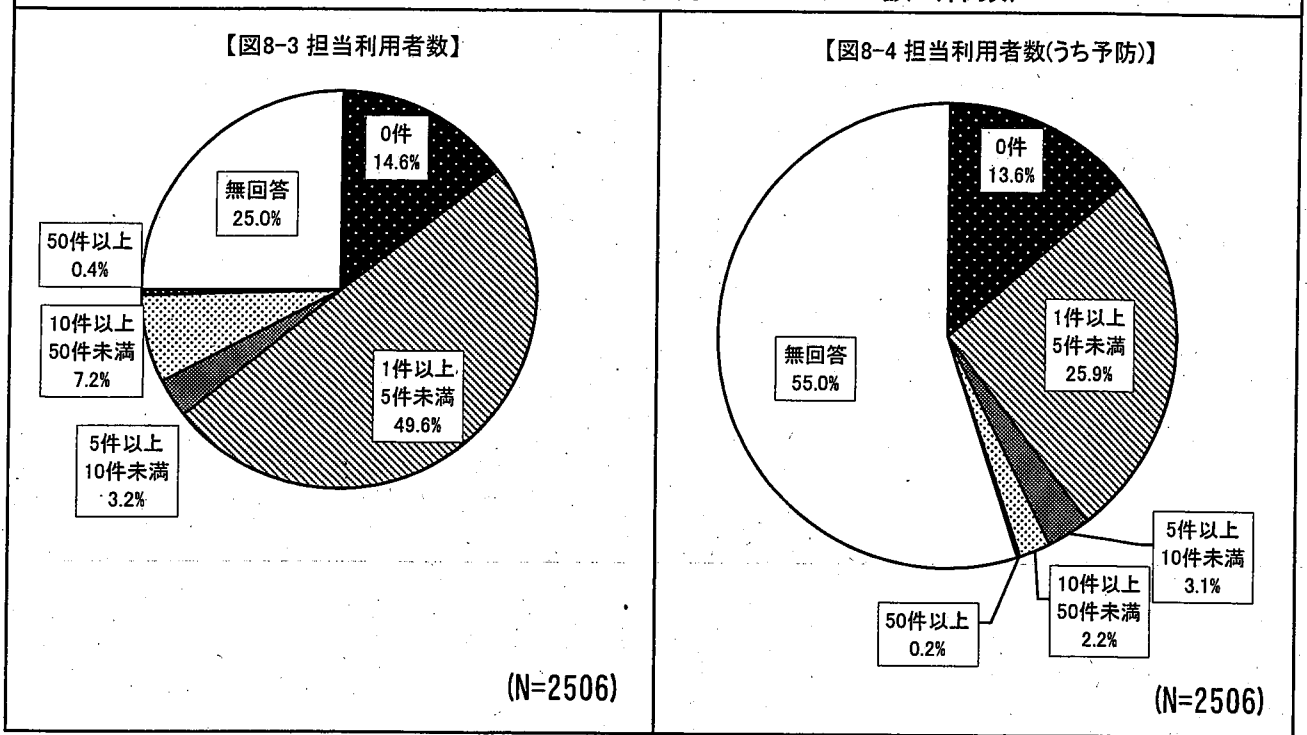
【図8-2 担当利用者数(うち予防)】



(N=2506)

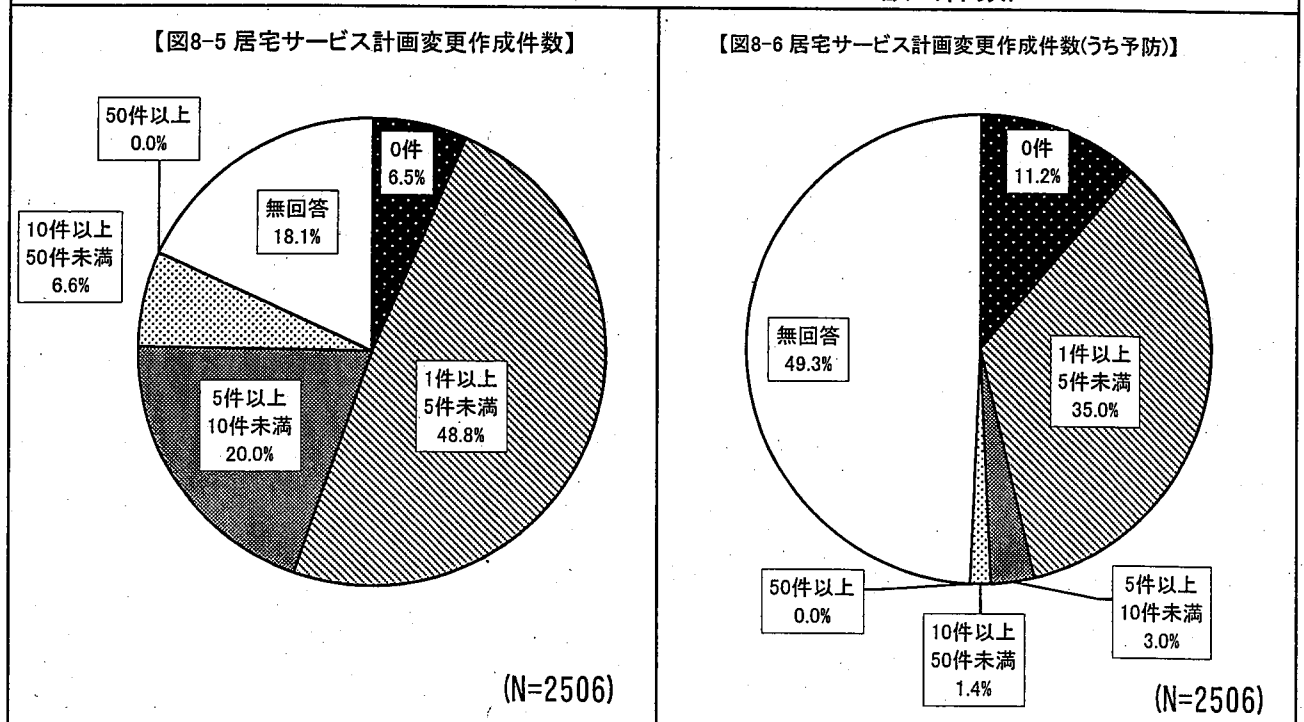
担当している利用者数は「10人以上50人未満」が79.6%と圧倒的に多い。うち予防では、「5人以上10人未満」が最も多く、31.0%となっている。(図8-1、8-2)

(2) 居宅サービス計画新規作成件数(平成25年9月1日～30日の該当件数)



1ヶ月の居宅サービス計画新規作成件数は、「1件以上5件未満」が49.6%と最も多い。うち予防でも、同様に「1件以上5件未満」が25.9%で最も多くなっている。(図8-3、8-4)

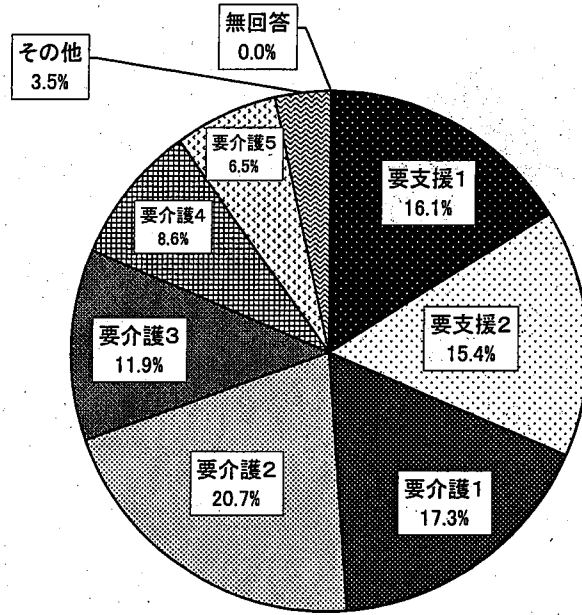
(3) 居宅サービス計画変更作成件数(平成25年9月1日～30日の該当件数)



1ヶ月の居宅サービス計画変更作成件数は、「1件以上5件未満」が48.8%と最も多い。うち予防でも、同様に「1件以上5件未満」が35.0%で最も多くなっている。(図8-5、8-6)

問8-1 問8(1)で記入された利用者の要介護度別の内訳人数をお答えください。
なお、新規・更新・区分変更中の方については「その他」に計上してください。

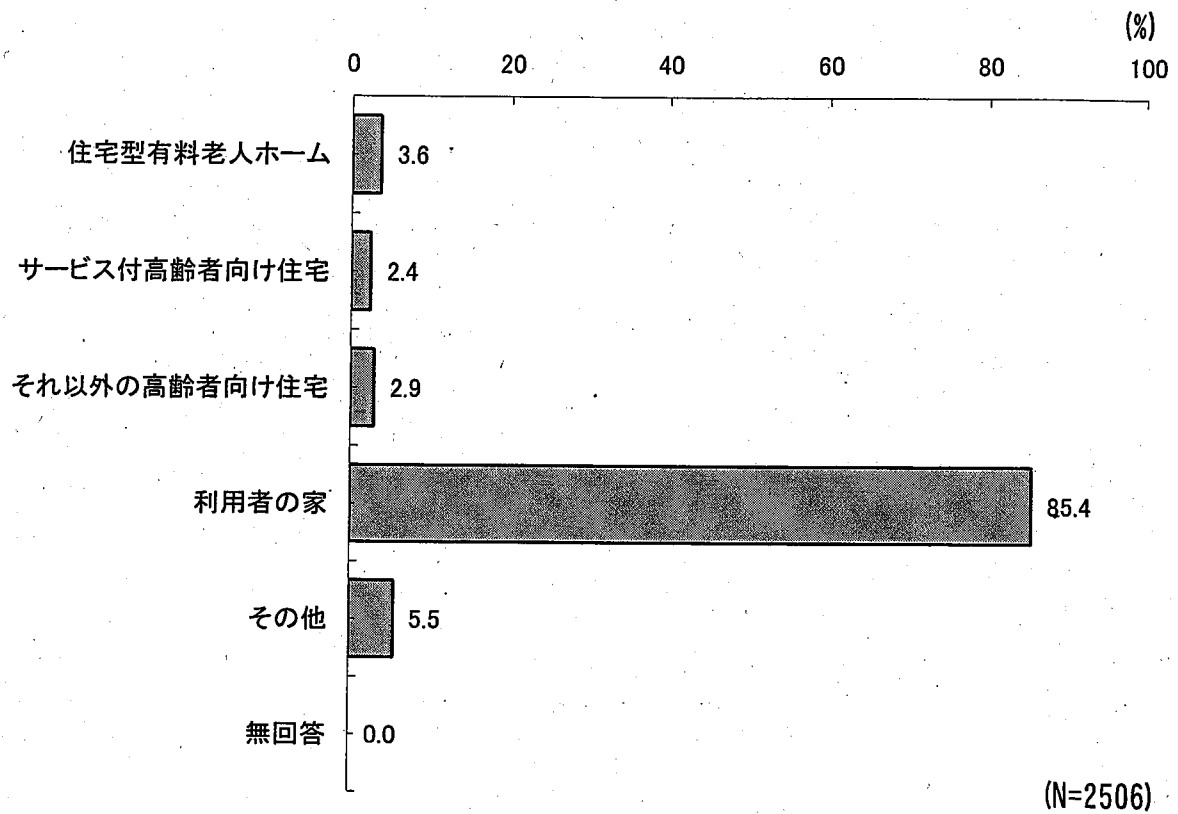
【図8-7 要介護度別 担当者割合】



担当している利用者を要介護度別にみると、「要介護2」が20.7%と最も多く、次いで「要介護1」が17.3%となっている。(図8-7)

問8-2 問8(1)で記入された利用者のお住まいについて、住まい別の内訳人数をお答えください。

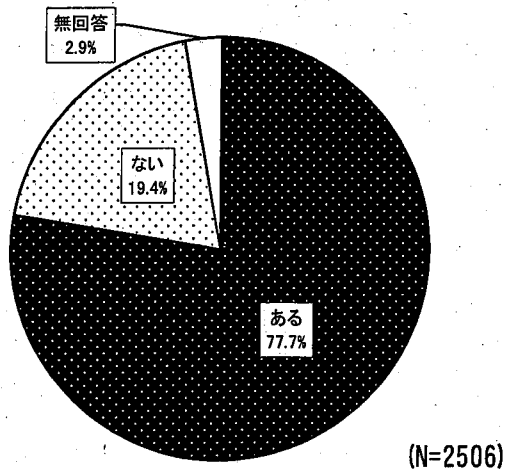
【図8-8 住まい別 担当者割合】



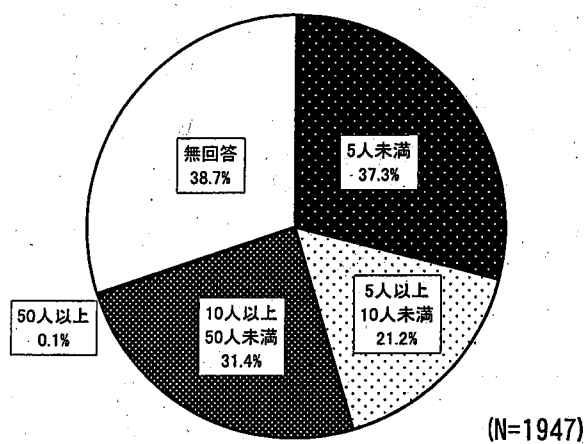
担当している利用者を住まい別にみると、「利用者の家」が85.4%と最も多い。(図8-8)

問9 平成25年9月30日現在であなたが担当している利用者のケアプランで、大阪市の介護保険外サービス、ボランティアなどのインフォーマルサービスを組み合わせて作成したものはありますか。あればその人数を記入してください。

【図9-1 介護保険外サービス作成の有無】



【図9-2 介護保険外のサービス作成者数】

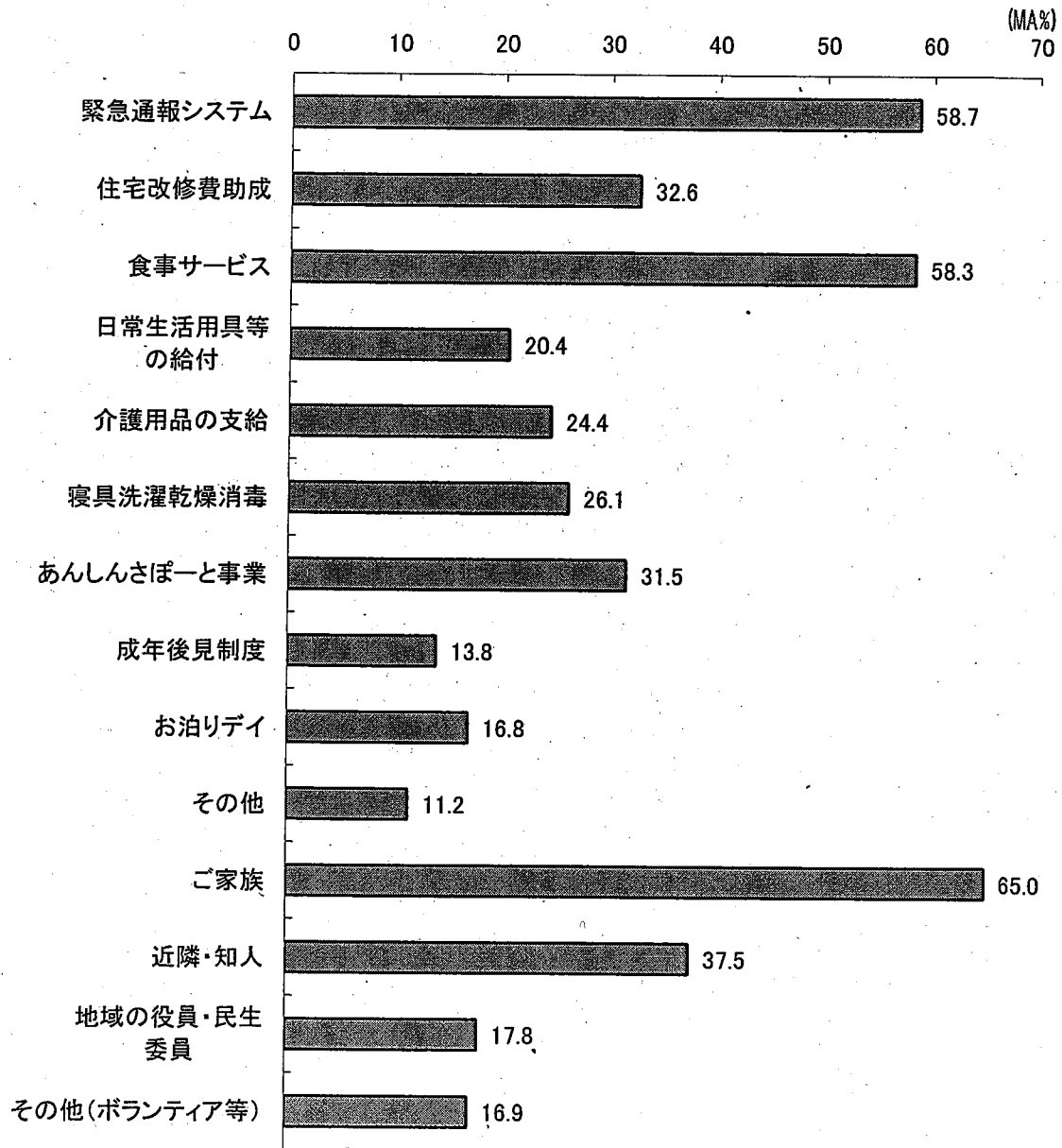


介護保険外サービスの有無をみると、「ある」が77.7%となっている。

介護保険外サービス作成者数でみると、「5人未満」が37.3%と最も多くなっている。(図9-1、9-2)

問10 問9で「ある」と答えられた方にお伺いします。
 該当する介護保険外サービス・インフォーマルサービスについて○で囲み、
 利用者の人数を記入してください。(あてはまるものすべてに○)

【図10 介護保険外サービスの種類別利用割合】



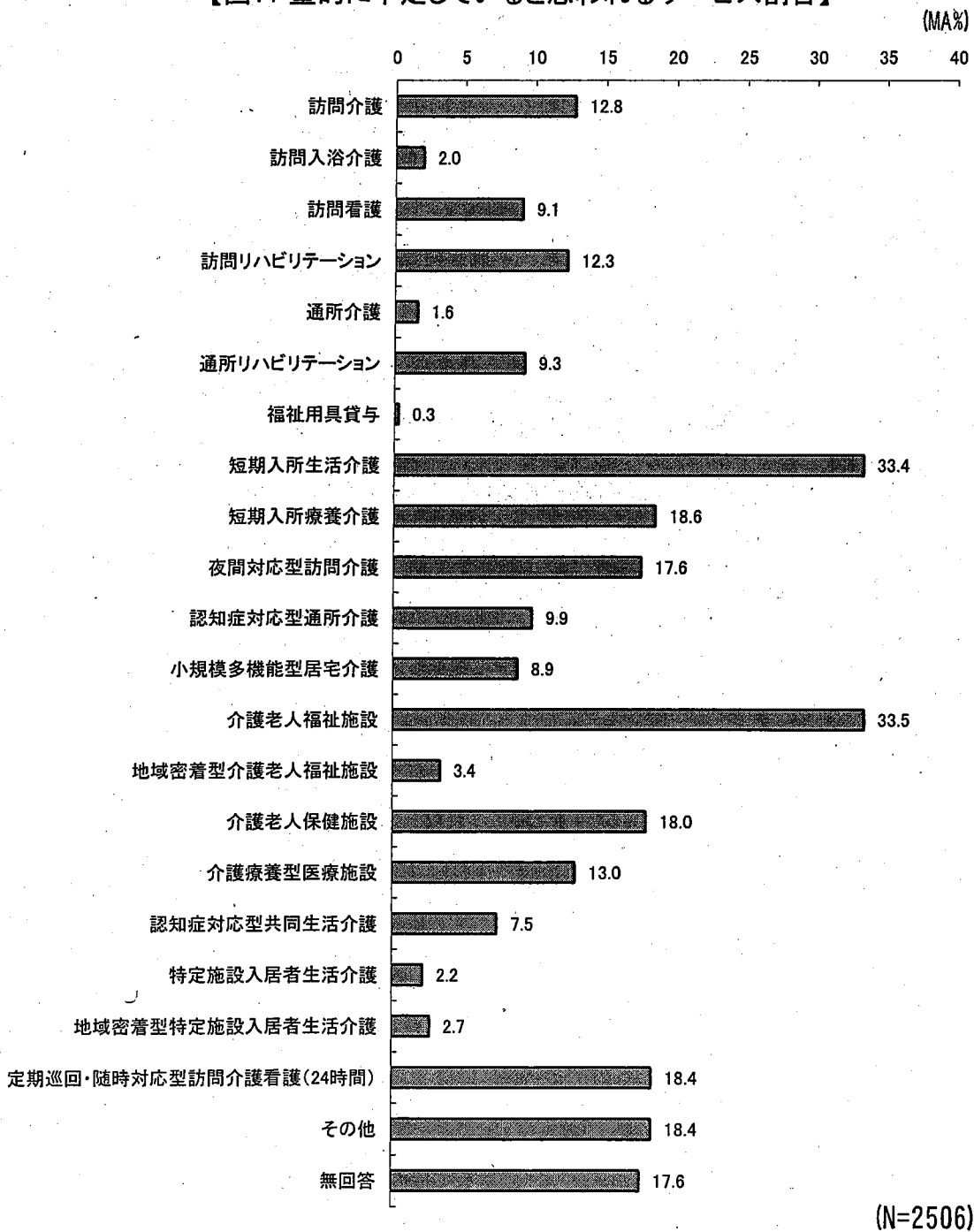
(N=1947)

作成された介護保険外サービス内容を見ると、「ご家族」が65.0%となっている。
 (図10)

(3) サービス内容と課題

問11 事業所数もしくは定員など、量的に不足していると思われるサービスはありますか。(あてはまるものすべてに○)

【図11 量的に不足していると思われるサービス割合】



量的に不足していると思われるサービス割合をみると、「介護老人福祉施設」が33.5%で最も多く、次いで「短期入所生活介護」となっている。(図11)